慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	広中佐兵衛著 独逸殖民新論
Sub Title	
Author	高城, 仙次郎
Publisher	三田学会
Publication year	1912
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.6, No.2 (1912. 4) ,p.379(191)- 380(192)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19120400-0191

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

原著書と共に祝せざるを得ざる所也。吾人は上文に於て單に評釋書の項目を擧ぐるに止め、徒らに內容を紹介せざりしは、理論經濟學に志ある讀者は同敎授が評釋の勞を執られたるブ氏の經濟論を等閑に附し去ること非ざるを確信すれば也。唯原著を讀まざる評釋書の購讀者の爲め、聊か蕪言を述べたるのみ。世に有名なる經濟學者は多けれど、科學的研究を爲し居る者は誠に稀なり。ブ氏は此稀なる經濟學者の一人なり。されば吾人は其の著述の評釋書が廣く我經濟學界に用ゐられ、眞實の研究を喚起するの一動機と爲らんことを希望して止まざる也。（高城）

世界商業史

クライブ、デー原著　三上正毅譯述

大判六百六十五頁　定價金貳圓八拾錢
四十五年一月初版　東京隆文堂發行

本書の原著はA History of Commerceと稱し、米國エール大學敎授クラブ・デー氏の著はせる者にして千九百八年紐育市 Longmans, Green, and Co. の發行に係れり。原著者デー氏は歐洲經濟史に精通せる新進の大家にして、現にエール大學本科及び經濟學專攻科に於て歐洲經濟史の講座を擔任しつゝあり。原書は商業學敎科書として著述されたるものにして、載する所は世界各國の商業史なるが、全書を分ちて古代、中世、近世、最近及び北米合衆國の五篇とし、順を追ふて各其時代に於ける重なる諸國の商業の發達を叙述せり。著者の最も苦心せる所は埃及全盛時代より近年に至る迄約三千年間に亘りて數十箇國の商業史をば如何にして彼に偏せず此に私せずして記述せんかに在りしが、著者の錐敲の功空しからず、良く其の目的を達せるは原書を繙くものゝ一齊に感嘆する所也。然かも本書の異彩と看做すべきものは各國の商業的發展を叙述するに當りて單に商品の種類、賣買高等を擧ぐるに止まらず、商業の根柢たる國家經濟發展の徑路を說明せると是れ也。因是、讀者一度び此書を繙かば、世界文明史上の各強國の榮枯盛衰の遠因を窺ふに足るべし。本書は初版發

行後未だ四年の星霜を經ざるに既に第五版を出すに至れりと、以て本書が如何に好評を博しつゝあるかを知るべし。

譯者は多年米國に遊學し曾てエール大學に於て原著者デー敎授の薰陶を受けたるとある經濟學專攻者にして、曩にアダム・スミスの『富國論』とアルサスの『人口論』の抄譯を試み、近くは『獨逸帝國』及び『外遊十二年』等の著書あり。譯書は第五編亞米利加合衆國中の一部を除き原著全卷を追句的に譯出せるものにして、終始一貫忠實なる飜譯を與へ、譯文も亦平易流暢にして、何等の澁滯なし。譯書は又原書に挿める三十有餘の地圖を轉載したれば本文の解釋上一大便宜を與ふるものと云ふべし。原著に接するの機會を有せざる讀者は此譯書に依りて原著を繙くと同樣の利益を享有するを得るならん。吾人は譯者に對し一好著を我讀書界に紹介せるの勞を謝すると同時に其の譯書を公湖に推薦することを躊躇せざるもの也。（高城）

獨逸殖民新論

法學士廣中佐兵衛著

大判二百〇三頁　定價金一圓
明治四十五年一月　東京巖松堂發行

本書は主として法制上より觀たる獨逸帝國と其の殖民地との關係を叙述したるものなり、載する所は殖民法制の發達、殖民地の領土と帝國領土との法律上の關係、殖民地在住人の法律上に於ける地位、殖民地に於ける立法、行政及司法の組織、民法、商法及刑法の梗概にして、獨逸殖民地現勢の一斑、英人所見世界殖民小觀併に歐米殖民地現勢の統計表を附錄として卷尾に收め、猶ほ著者の用ゐたる參考書を緒言の終りに揭げたり。

本書は一般の法制史及殖民制度、殖民政策の研究者に取りて一好參考書たるべし。さはれ本書は題して『獨逸殖民新論』となせど、論ずる所は概して法制の方面のみにして、本國と殖民地との間の政治的、社會的、商工業的、一般經濟的關係に論及する所尠なし。此種の關係の一

第四回發行

三田學會雜誌

明治四十五年第三號

第六卷　第三號　目次

論說

英國炭坑最低賃銀法　法學博士　關一
英國職工組合の法制的地位を論じて　法學博士　堀江歸一
最低賃銀國定制度に及ぶ
閑却せられたる銀行貸出の二方面　法學博士　佐野善作
土地價格の上騰に就きて　法學博士　神戸正雄
Social Policy of John Stuart Mill　W. W. McLaren, Ph. D.
我國に於ける物價騰貴の根本的原因は何ぞや　ドクトル、オブ、フィロソフィ　高城仙次郎

雜錄

千八百九十六年以來の物價變動の原因　慶應義塾大學院生　増井幸雄
室町時代の經濟史的事實の一端　文學士　松本彦次郎
米國都市委員制度の特徴　慶應義塾大學院生　村田岩次郎

紹介

フィリッポヴィッチ氏原著
氣賀教授解說經濟政策後篇下卷

部は附錄の『獨逸殖民地現勢一斑』に載せたれども、其記述の體裁は百科全書的にして制度と經濟的發展の關係を詳かにせざるは惜むべし。卷尾に載せたる歐米殖民地現勢の統計は各地に散在せる英、露、佛、獨、白、葡、和、米、伊、丁、西の十一箇の殖民地の地名、面積及人口の統計を收めたるを以て、殖民論の研究者には好參考を與ふるものと謂ふべし。（高城）

經濟政策後篇下卷

フィリッポヴィチッ原著　氣賀勘重解說
大判七百三十頁　定價金貳圓五拾錢
四十五年二月　東京同文館發行

本書は曩に氣質教授の健筆に依りて順次譯出發刊せられたるフ氏の經濟原論、經濟政策前編、經濟政策後編上卷の姉妹篇にして、之を以てフ氏が十ヶ年の苦心に成れる經濟全書の飜譯を完成するものなり。載する所は近時物價騰貴の趨勢に連れて世界各國の學者及經世家の注意を喚起せる勞働問題と密接の關係を有する勞働者所得に對する政策論にして、全卷を分ちて總論、勞働所得政策及貧民政策の三部とし、總論には所得政策の性質、直接間接の所得政策等を論じ、第二部（勞働所得政策）を更に所得確保策と勞銀政策との二章に小分し、第一章には勞働紹介の制度失業者の救護、勞働保險等に關する研究を載せ、第二章には勞銀政策の職分、各種の勞銀支給方法、勞銀に關する爭鬪（同盟罷工、工場閉鎖、同盟排斥、黑表）、勞銀協約と其の公定、勞銀保全の策生活費の輕減、住居の改善等を論じ、又第三部（貧民政策）に於ては貧民の性質、其の原因、貧民救助の歷史、貧民行政等を擧げたり。本書には又後篇全部の索引を卷末に收めたれば參考書としての便宜多し。

以上は單に本書所載の項目を列記したるのみなるが、詳細なる紹介は次號に載すべし。譯文に至りては達筆家として我學界に知られたる氣賀教授の麗筆に成れるものなれば、茲に呶々するの要なし。